



# 令和7年度 製品・サービスの カーボンフットプリントに係るモデル事業

(業界団体・企業群支援)  
事業概要

2025年4月21日

環境省地球環境局地球温暖化対策課  
脱炭素ビジネス推進室





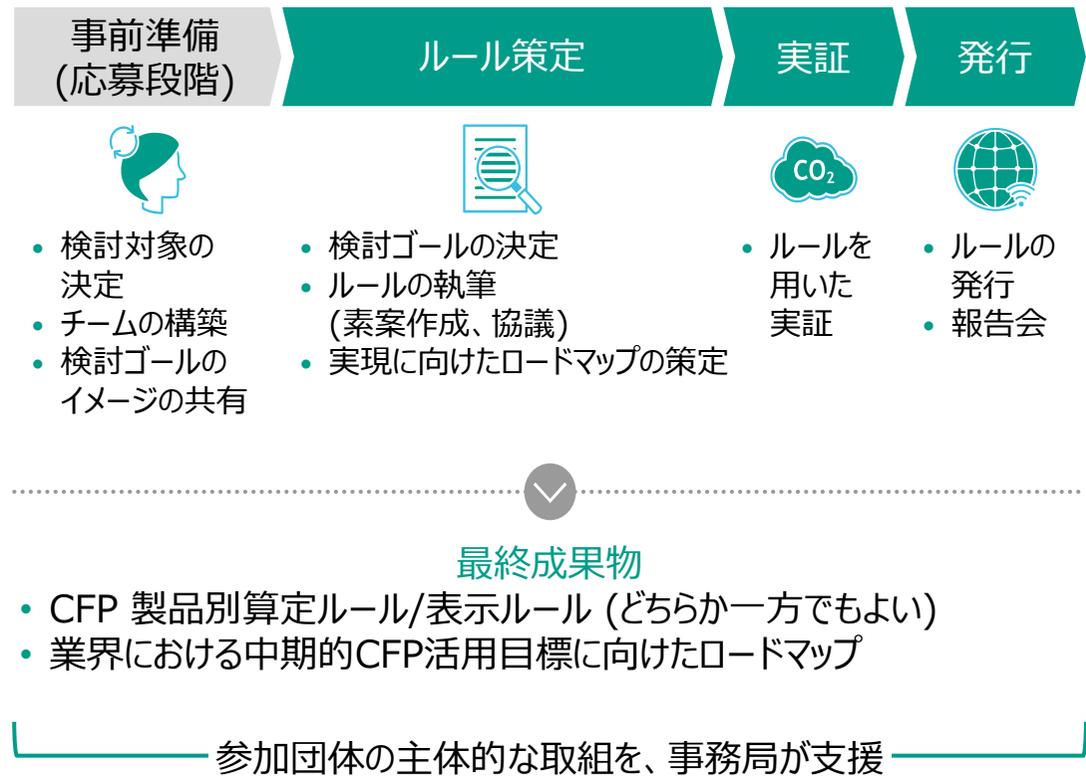
# モデル事業の概要（業界団体・企業群支援）

- 業界団体又は業界のリーディング企業群によるカーボンフットプリント（CFP）の算定・表示ルール  
の共通化に向けた支援を行う
- 今年度は2団体程度を採択予定

## 背景と目的

- 「消費者が積極的に脱炭素に貢献する製品・サービスを選択できる社会」を実現するためには、購買活動における気候変動影響が、CFPを通じて消費者に「見える化」される必要がある
- 他方、個社のみで一からCFPの算定・表示を行うことは難易度が高いことに加え、自社ルールによる算定・表示が進むと、異なるルールでのCFP情報が表示された製品・サービスが乱立し消費者が混乱するため、業界によるCFPの算定・表示ルールの共通化が重要である
- 本事業では業界団体又は業界のリーディング企業群によるCFPの算定・表示ルールの共通化に向けた支援を行う
- ルールは、単一の製品・サービス対象ではなく、ある程度幅広い製品・サービスに適用できるものを目指す

## 事業の全体の流れ



# 対象製品・サービスのイメージ及び対象団体

- 消費者の行動変容に直接関与することが可能な製品又はサービス群が対象
- 対象団体は2つのパターンから選択して応募

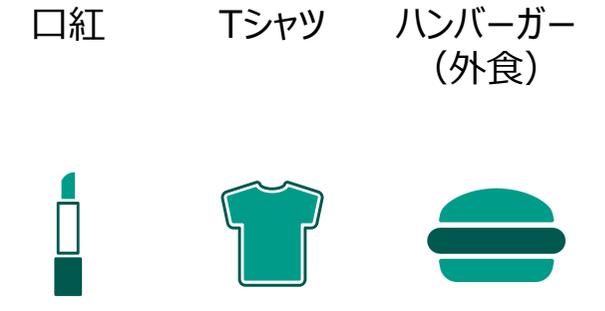
## 対象製品・サービス ※ 記載はイメージのため、対象はこの限りではない

個別の製品やサービスではなく、複数の製品やサービス群を対象とする

複数の製品・サービス例 (望ましい例)

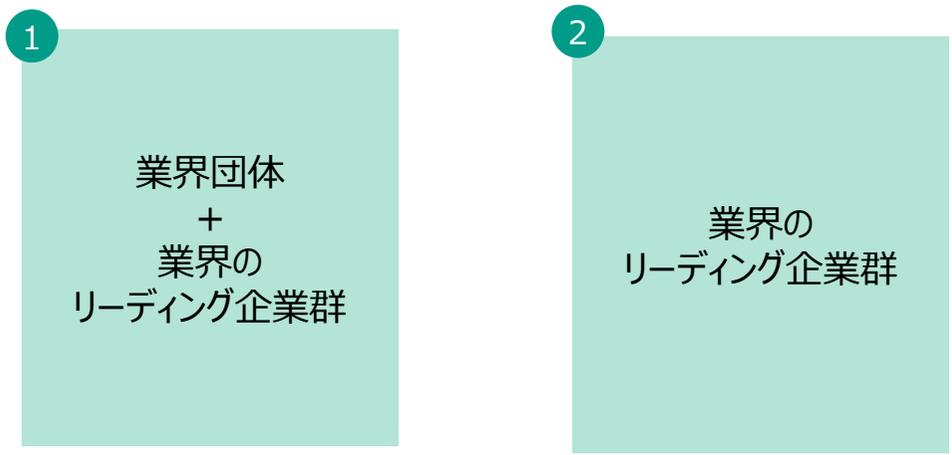


個別の製品・サービス例



## 対象団体等 (応募パターン)

2パターンのうちのいずれかの応募パターンとする



# (参考) 令和6年度 モデル事業参加グループ一覧 (業界支援)

■ 令和6年度モデル事業では、業界支援として2グループが、業界におけるCFP算定ルール又は表示ルールの共通化に向けた取組を実施した

## 文具・事務用品

## 履物全般

取組対象  
製品群

- ボールペン、マーキングペン、シャープペンシル、鉛筆、万年筆等の筆記具類
- 厚型ファイル、レターファイル、クリアファイル、ホルダー、バインダー等のファイル・バインダー類
- ノート、ルーズリーフ、封筒等の紙製文具類
- ステープラー、テープのり、修正テープ、定規、スタンプ台、はさみ、クリップ等の事務用品類



- 紳士靴、婦人靴、子供靴
- スニーカー、ブーツ、サンダル、長靴 等



業種

文具・事務用品製造

靴の企画開発・輸入・卸売

参加団体

- 一般社団法人全日本文具協会
- プラス株式会社
- コクヨ株式会社
- シヤチハタ株式会社
- ニチバン株式会社
- 株式会社リトラブ
- ゼブラ株式会社

- チヨダ物産株式会社
- 東邦レマック株式会社
- TOSMAX株式会社
- 株式会社ダイマツ
- 山三商事株式会社

策定した  
ルール

[CFP表示ルール](#)

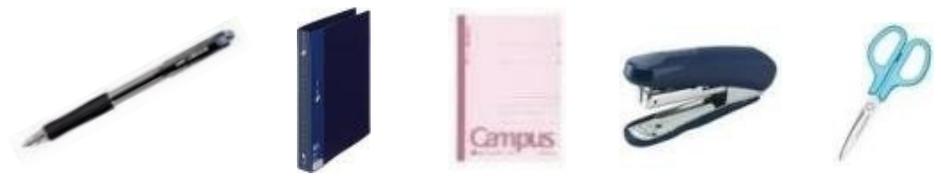
[CFP算定及び表示ルール](#)

# (参考) 令和6年度モデル事業での取組 -文具・事務用品-

■ 業界としてCFP算定・表示に取り組む企業を徐々に増やしていくことを目指し、CFP表示ルールを策定した

## 取組対象製品群

- ボールペン、マーキングペン、シャープペンシル、鉛筆、万年筆等の筆記具類
- 厚型ファイル、レターファイル、クリアファイル、ホルダー、バインダー等のファイル・バインダー類
- ノート、ルーズリーフ、封筒等の紙製文具類
- ステープラー、テープのり、修正テープ、定規、スタンプ台、はさみ、クリップ等の事務用品類



## 参加団体

- 一般社団法人全日本文具協会
- プラス株式会社
- コクヨ株式会社
- シヤチハタ株式会社
- ニチバン株式会社
- 株式会社リヒトラブ
- ゼブラ株式会社

## 策定したルールと活用策

### 文具・事務用品 カーボンフットプリント製品別表示ルール



### 活用策

- 策定したルールを活用して、CFP算定・表示に取り組む企業を徐々に増やしていく
  - ワークショップでCFP人材の育成を行う
- 表示ルールに合わせて算定ルールとの整合を行う
- 表示共通化に向けた体制を検討する

CFP値：000.0kg-CO<sub>2</sub>e/1本

CFP値 1本あたり 000.0kg-CO<sub>2</sub>e

CFP値 1本あたり 000.0 kg-CO<sub>2</sub>e

# (参考) 令和6年度モデル事業での取組 -履物全般-

- 業界ルール策定を皮切りに、団体設立や人材の育成なども目指しながら、CFPの利活用を推進する

## 取組対象製品群

- 紳士靴、婦人靴、子供靴
- スニーカー、ブーツ、サンダル、長靴 等



## 参加団体

- チヨダ物産株式会社
- 東邦レマック株式会社
- TOSMAX株式会社
- 株式会社ダイマツ
- 山三商事株式会社

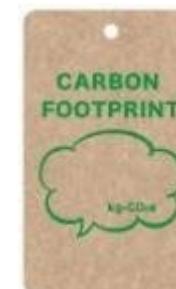
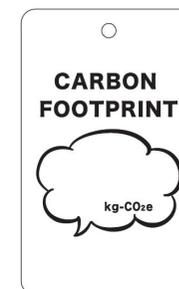
## 策定したルールと活用策

### カーボンフットプリント (CFP) 算定・表示ルール 対象製品：履物 (Footwear) Ver. 1.0



### 活用策

- ルールに基づいて算定・表示をしている商品を増やしていき、消費者の低炭素商品の購買をサポートする
- 業界内でCFP協働や人材育成をする体制を構築する
- より算定・表示がしやすく、国際ルール等に整合したルールになるように必要に応じてルールの更新を行う

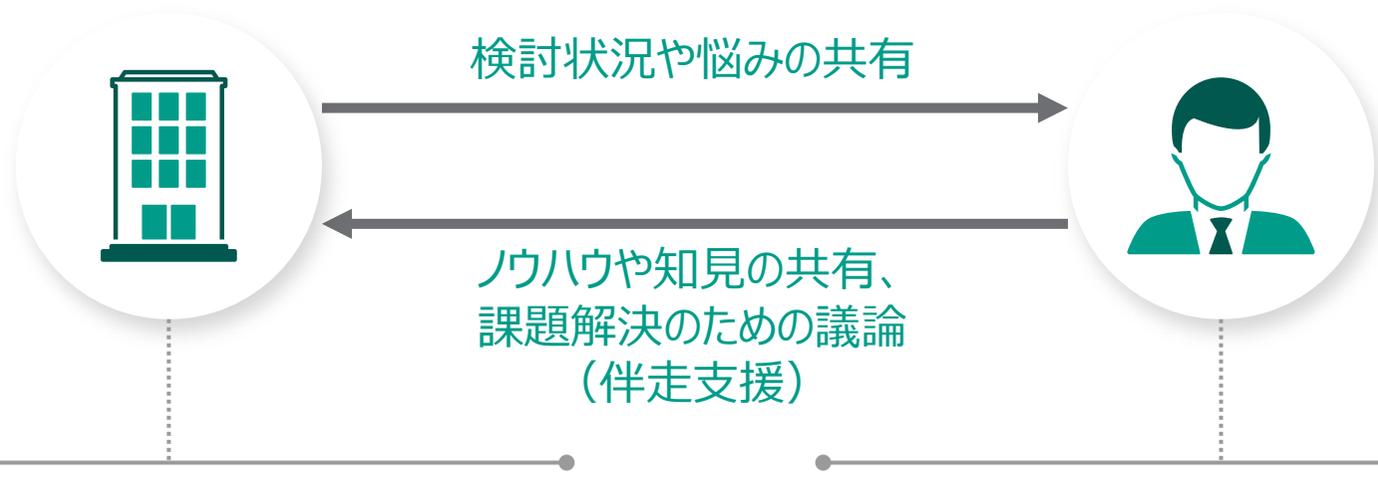


# 本事業の実施方法

■ 参加団体は、コンサルタント等の支援を受けつつ、自らが主体的に検討を進める

参加団体

コンサルタント/検証機関



## 実施内容

- 関連データ/情報収集
- 共通表示/算定ルールやロードマップ等のコンテンツの作成
- 関係者合意形成 等

## 支援内容

- 取組方法の解説
- 先進業界のベストプラクティスの紹介
- 検討の進め方や内容に関するアドバイス
- 質問に対する回答・解決に向けた議論 等

# モデル事業で取り組む具体的な内容

- CFPの共通表示/算定ルール策定に向けた事前準備、ルール策定、実証、発行に取り組んでいただく

事前準備  
(本事業応募段階)



- 検討対象の決定
  - ルールの対象
  - 表示ルールand/or 算定ルール
- チームの構築
  - リーダー、執筆責任者
- 検討ゴールのイメージの共有
  - CFPの中期的な目標
  - 本モデル事業でのゴール

ルール策定



- 検討ゴールの決定
- 算定/表示ルールの策定
  - 既存ルール/各社の取組の調査
  - 規定する項目/優先順位の決定
  - ルール内容の議論/執筆<sup>1</sup>
- 実現に向けたロードマップの策定
- ルール策定にあたり、以下を実施
  - ルール策定について解説する合同講義
  - 業界別の個別フォロー

実証



- ルールを用いた実証
- 改善点の抽出・ルールの更新

発行



- ルールの発行
- 団体参加企業への報告会の実施

1. 当該ルールを用いて算定したCFPが新聞紙上等で公に他社製品と比較して公表される場合や公共調達で利用されることが想定される場合には、レビューを受けることが必要。他社製品間の比較を想定したルールを作る場合にはレビューを行う

# モデル事業に取り組む上での留意事項

■ 円滑な事業推進体制の構築や、CFPのロールモデルを創出するという観点から、取組に関する積極的な発信が求められる

## 円滑な事業推進

- 主体的取組に向けた事業推進体制の構築をする
- 業界に広く影響力がある団体や企業が参加する
  - 必要なリソースを確保し、参加者の役割を分担する（リーダー、執筆責任者 等）
- 本事業の取組を明確化する
- 取り組む製品やサービス群が明確である
  - 業界におけるCFPの中期的な目標や本モデル事業でのゴールが明確である

## ロールモデルの創出

- 環境省/政府が事業に関して発信・発表することに対し、積極的に協力する
- CFP実践ガイド<sup>1</sup>等に、本事業における取組を記載する
  - 報告会：検討に参加していない業界内企業に向けて成果を報告する
  - 脱炭素経営フォーラム<sup>2</sup>（仮称）：本事業における取組等を発表する
- 業界としてのCFPへの取組を発信し、企業は策定したルールを積極的に活用する
- 本事業への取組やその成果を積極的に対外発信・発表し、消費者の行動変容に貢献する
  - 策定するルールやロードマップは本事業終了後も積極的に活用し、CFPの取組を拡大する

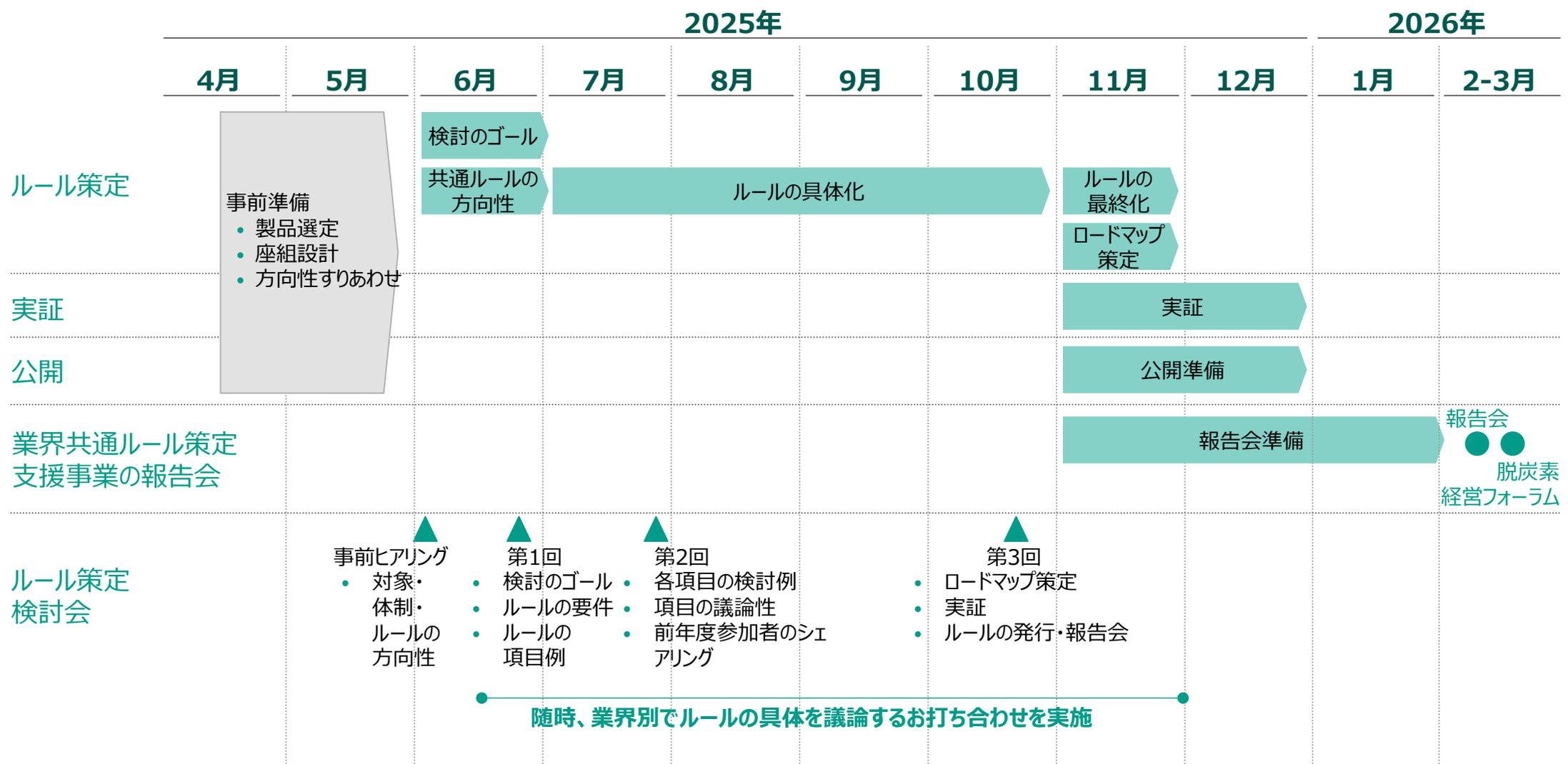


脱炭素経営フォーラム (2024年度) の登壇の様子

1. CFP実践ガイド (経済産業省、環境省): <https://www.env.go.jp/content/000136177.pdf> 2. 脱炭素経営フォーラム(2024年版)パート3: <https://www.youtube.com/watch?v=ZRK4aLiAuY8&t=5s>

# モデル事業の実施スケジュールのイメージ

■ 約6カ月間にわたり、検討を実施



# 参加団体の採択において考慮する主な観点

- 以下の観点を考慮して採択する団体を決定する  
(採択にあたっては、必要に応じてヒアリング等を実施する可能性がある)

## 基準の概要

### 円滑な 事業運営

- | 基準の概要  | 必須 | 加点 |
|--|----|----|
| ① ルール策定に取り組む製品・サービス群が決まっている  | ✓  |    |
| ② 業界におけるCFPの中期的な目標や本モデル事業でのゴールが明らかである  | ✓  |    |
| ③ 検討に必要なリソースを確保しており、参加者/企業の役割分担が明らかである <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議論のとりまとめを行うリーダーや執筆責任者が決まっている</li> <li>・ ルールの最終化のプロセスが明らかである</li> </ul> | ✓  |    |
| ④ GHG/CFP算定もしくはLCA実施の経験があり、実務を理解している企業が参加する  |    | ✓  |

### 波及効果・ 横展開

- |   |   |   |
|---|---|---|
| ⑤ 業界に広く影響力がある団体や企業が参加している                             | ✓ |   |
| ⑥ 本モデル事業での取組内容についての環境省/政府からの発信に協力できる                  | ✓ |   |
| ⑦ 策定したルールについて参加業界団体/企業からの発信を積極的に行い、業界内に幅広く普及させる見込みがある |   | ✓ |

### インパクト

- |  |  |   |
|--|--|---|
| ⑧ 国民の利用頻度が高い等、対象とする製品・サービスの社会的インパクトが大きく、消費者の行動変容への影響力がある |  | ✓ |
| ⑨ ライフサイクル排出量が多い業界であり、排出量削減に取り組むインパクトが大きい                 |  | ✓ |

# 事業説明会の実施

- 事務局より本事業についてご説明するほか、前年度の本事業参加業界より具体的な取組内容をご紹介いただく
- さらに、Q&Aセッションで疑問点や懸念点等についてお答えする

## 概要

実施日 5月7日13時00分～13時30分

実施方式 Zoomウェビナー (オンライン)  
※アーカイブ配信を行う予定

目的 応募を検討している業界団体・企業等の懸念点・疑問点を解消する

申込先 <https://www.113.vovici.net/se/13B2588B573BACE0>

申込〆切 5月6日正午



## アジェンダ

### 事業概要CFPの説明

事務局

- CFPの説明も簡単に実施

### 前年度参加者の声

プラス株式会社  
ステーションリーカンパニー  
CSR 本部 サステナビリティ推進部・  
担当部長

添田 修一

チヨダ物産株式会社  
商品部 CSR担当

松田 徳子



- 事業参加の背景・理由
- 参加企業を募った方法
- 得られたこと
- CFP普及に向けた今後の展望  
(ルールを活用、人材育成)

### Q&A

事務局及び前年度参加者

事務局：ポストン コンサルティング グループ合同会社  
E-mail : [MOEcfp@bcg.com](mailto:MOEcfp@bcg.com)

担当課室：環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 脱炭素ビジネス推進室  
Tel : 03-6205-8277 (直通)

